

静岡市清水区感染症発生動向

2015年 3週

集計期間 1/12-18

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-	
RS感染症	3		1	1	1	1								7	
咽頭結膜熱															
溶連菌感染症			1		1			3	3		1	3		12	
感染性胃腸炎	1	4	8	6	3	7	6	8	7	9	2	12		74	
水痘				1		1								2	
手足口病															
伝染性紅斑			1	1		1				1				4	
突発性発疹		1												1	
百日咳															
ヘルパンギーナ															
流行性耳下腺炎															
麻疹															
風疹															
マイコプラズマ										1				1	
髄膜炎															
MCLS															
小児科Flu	5	5	10	19	24	23	28	34	36	26	24	98	3	5	340
小児科定点総数 441 増減 -35 前週比 92.6% 定点当たり 73.5															
病院:開業医 11:430 増減 +0:-35															
内科Flu					2				1	1	2	9	6	63	84
インフルエンザ総数 424 増減 -36 前週比 92.2% 定点当たり 47.1															
小児科:内科 340:84 増減 +17:-53															

総数441、前週の92.6%と、減少です。

首位は、インフルエンザ、前週比105%、定点当たり56.6と、僅かに増加です。

2位は、感染性胃腸炎、前週比78.7%、定点当たり12.3と大幅減少です。

3位は、溶連菌感染症、前週比109%、定点当たり2とほぼ不変です。

4位は、RSウイルス感染症、前週比140%、定点当たり1.2と増加です。

以下は、定点当たり1未満ですが、

伝染性紅斑、前週比50%ながらも、これも地味に流行中です。

あとは、水痘2名、マイコプラズマ1名報告です。

内科も含むインフルエンザ前週比92.6%と減少、小児6内科3の全定点からから報告、型報告のあったものは、全てA型です。

内科定点は、前週比61%と明らかに減少に入りました。小児科定点は、集団生活が始まった影響で僅かに増加ですが、ここがピークかと思えます。

しばらく、穏やかに経過すると思いますが、2月にBの山が来るかどうか注目です。